



# XGPS160

---

## OWNER'S MANUAL

### SkyPro GPS Receiver

**Japanese**



FCC ID: GJW-XGPS160  
IC ID: 4038A-XGPS160



Made for



## 取り扱いのご注意

- 本体及び付属品に欠品がないかご確認ください。
- 製品の保証内容をご確認いただき、重要な書類は必ず保管してください。
- 炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
- 分解、改造をしないでください。

## 内容物の確認

- XGPS160本体
- 滑り止めパッド
- シガーライター電源アダプタ
- USB充電ケーブル
- XGPS160 OWNER'S MANUAL(日本語版)

## その他の情報の入手方法

以下のWEBサイトで製品情報、NEWS、FAQなどXGPS160に関する情報を提供しております。

**株式会社ワックドットコム**

**Catalyst事業部ホームページ**

**<http://catalyst.wac-jp.com/>**

ホームページのレイアウトは予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

## index

取り扱いのご注意 内容物の確認	02
index	03
はじめに	04
各部の名称とはたらき	05
セットアップ	08
<b>機器とのペアリング</b>	
iPod touch、iPad または iPhone とのペアリング	09
Android端末とのペアリング	10
XGPS160と「Bluetooth GPS」の使い方	11
XGPS160と「Bluetooth GPS Provider」の使い方	12
XGPS160の使用と充電	13
XGPS160を快適にご使用いただくために	14
XGPS160の仕様	15
Compliance	16
1年保証	18
保証書	19

**日本語版取扱説明書について**

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万が一誤りや記入漏れなどにお気づきの点がございましたら、XGPS160サポートまでご連絡ください。

## はじめに

Dual社製XGPS160 (SkyPro Bluetooth<sup>®</sup> GPS Receiver)をご購入頂きありがとうございます。ごぞいます。

XGPS160は人工衛星からの電波を利用した位置測位システム(米国のGPSとロシアのGLONASSに対応)を利用したGPSレシーバーです。衛星からの電波を受信し、現在位置が手軽かつ正確に把握でき、Bluetooth機能のSerial Port Profile(以下SPP)に対応している機器に位置情報を送信することができるので、登山やキャンプなどに持ち歩く楽しみのほか、ナビアプリケーションと連携することで、活用の場が広がります。

### 対応機種

- iPad<sup>®</sup> (第1世代～第5世代)
- iPad mini<sup>®</sup> (第1世代～第2世代)
- iPod touch<sup>®</sup> (第2世代～第5世代)
- iPhone<sup>®</sup> (第2世代～第5世代)

Bluetoothに対応しているAndroid、Windows等、スマートフォンやタブレット端末、WindowsやOS Xで動作しているノートパソコンにも対応しております。

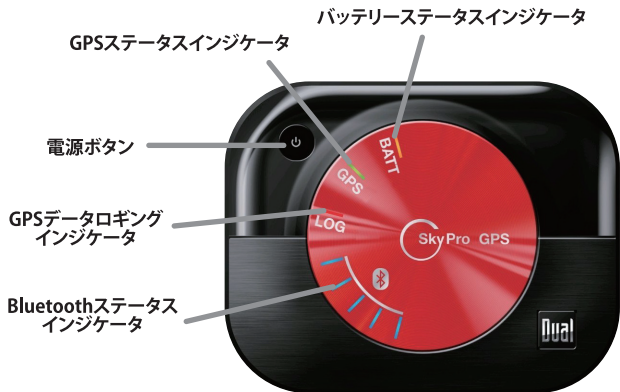
### ご注意

Bluetoothに対応していても、SPPには対応していない可能性がございますので、必ずSPPに対応しているかご確認の上ご使用ください。なお、SPPへの対応につきましては、Bluetooth製品の各メーカーサポートにお問い合わせください。

Android端末の場合、XGPS160を使用するためのアプリケーションが必要になる可能性がございます。

詳しくは「機器とのペアリング(10ページ)」をご確認ください。

## 各部の名称とはたらき



### 電源ボタン

電源ボタンを長押しする事で、オン/オフができます。

電源オンの状態でトリプルクリックすると、ロギング機能のオン/オフができます。

### バッテリーステータスインジケータ

バッテリーの状態により点滅または点灯します。

赤点滅: 残量わずか 赤点灯: 充電中 緑点灯: 充電完了

なお、XGPS160が正常に動作している間は点灯しません。

※詳しくは「XGPS160の充電(13ページ)」をご確認ください。

## 各部の名称とはたらき(続き)

### Bluetoothステータスインジケータ

Bluetoothの状態により(接続機器のサーチ中や、ペアリング中)点滅または点灯します。

速く点滅: Bluetooth機器とペアリング中です。(1秒あたり5回程度)

点灯: 機器と正常に接続している状態では点灯します。

XGPS160は同時に最大5台の機器と接続することができます。また、点灯しているインジケータの数が同時に接続している機器の数を表します。

※「ペアリング」とは、Bluetooth機器をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する過程のことです。

### GPSステータスインジケータ

GPS信号の状態により点滅または点灯します。

点滅: 衛星信号を検索中です。

点灯: GPS情報が正常に取得されています。

### GPSデータロギングインジケータ

ロギング機能の状態により消灯または点灯します。

消灯: ロギング機能がオフ

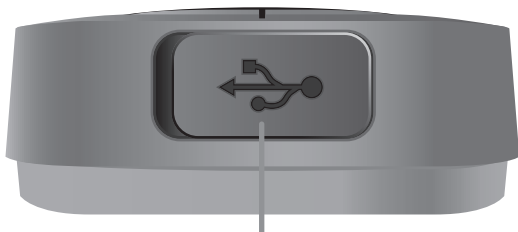
点灯: ログイン機能がオン(現在地を記録中)

XGPS160 Status Toolアプリ(iTunes storeで利用可能)では、この機能のオン/オフだけでなく、保存されたログファイルの情報をエクスポートする事もできます。

### USBポート

付属のUSBケーブルを接続して充電します。

## 各部の名称とはたらき(続き)



USBポート

### ロギング機能の使い方

XGPS160は20時間分のGPS位置情報データを記録する事が可能です。記録方法にはシングルモードと継続モードの2種類があります。

#### ダブルクリック:シングルモード

XGPS160の電源がオフになるまで記録し続けますが、電源を入れなおした際に記録を再開しません。

#### トリプルクリック:継続モード

XGPS160の電源がオンになると記録を再開します。

各モードへの切り替えは電源ボタンを使って行います。

※必ず電源がオンの状態で切り替えを行ってください。

電源ボタンをダブルクリックかトリプルクリックする事で、ロギング機能をオフにできます。

## セットアップ

お持ちの機器でXGPS160を使用するのに必要な手順は次の2つです。

- XGPS160の電源を入れます。
- XGPS160を使用する機器とペアリング(Bluetooth接続)します。

### 機器とのペアリング

ペアリングとは、Bluetooth機器を最初に使用する際に、接続相手を特定するために行う、2台のBluetoothデバイスの接続設定のことです。

1度ペアリングを行えば、XGPS160の電源を入れ直しても最後にペアリングした機器に接続され、使えるようになります。

なお、XGPS160を別の機器と接続するには再度ペアリングを行う必要があります。

※ペアリング中にお持ちの機器が接続のために暗証番号を必要とする場合「0000」か「1234」を入力してください。

※XGPS160はBluetooth機器を合計5台までペアリングすることができます。すでに5台の機器をペアリングしているときは、ペアリング機器を追加できませんので、ペアリング済み機器から不要な機器を解除してから、新しい機器をペアリングしてください。



## 機器とのペアリング(続き)

### iPod touch、iPadまたはiPhoneとのペアリング

(ご注意: 以下の説明は、iOS 6.1での使用をもとに書かれておりますので、iOSのバージョンにより内容が異なる場合があります。)

1. iPad、iPod touch、またはiPhone側でBluetoothを「有効」に設定します。

#### 設定-> Bluetooth

2. XGPS160を起動して、青色のBluetoothステータスランプがゆっくりと点滅し始めることを確認します。(1秒あたり約1回)

3. しばらくすると、iPad、iPod touch、またはiPhone側のリストに[XGPS160-xxxxxx]の項目が表示されます。(ご注意: 下6桁は機器によって異なります。)

※リストに[XGPS160-xxxxxx]と表示される前に「Misc」と表示されることがありますが問題ありません。

4. 表示された[XGPS160-xxxxxx]を選択します。「接続されていません」という表示が消えて回転するカーソルに変わります。

5. しばらくすると、リストにある[XGPS160-xxxxxx]の文字が青色に変わり「接続されました」という文字が表示されます。なお、XGPS160側ではBluetoothステータスインジケータの青色のランプが数秒のあいだ速く点滅した後、点灯状態になります。

ペアリングが正常に終了し接続されている状態であれば、XGPS160のBluetoothステータスインジケータの青色ランプが点灯状態になります。

## 機器とのペアリング(続き)

### Android端末とのペアリング

(ご注意: 以下の説明は、AndroidOS 4.1の端末での使用をもとに書かれておりますので、AndroidOSのバージョンにより内容が異なる場合があります。)

- 1.XGPS160を起動して、青色のBluetoothステータスインジケータがゆっくりと点滅し始めることを確認します。(1秒あたり約1回)
- 2.Android端末で以下の設定を行います。

- ・疑似ロケーション許可のオプション設定を「有効」にします。

**設定->開発オプション**

- ・Bluetoothを「有効」にします。

**設定->無線とネットワーク**

- ・デバイス検索を選択します。

**設定->無線とネットワーク->Bluetooth設定**

※疑似ロケーション許可のオプション設定を「有効」にするとAndroidはXGPS160等の外部機器からのGPS情報を使用することができるようになります。

※Bluetoothが「有効」になりデバイス検索を選択するとAndroid端末は自動的にXGPS160を探し始めます。

- 3.しばらくすると、Android端末のリストに[XGPS160- xxxxxx]の項目が表示されます。(ご注意: 下6桁は機器によって異なります。)また、この時点でリストには「ペアリング済み」または「この端末とペアリング」と表示されます。

※「この端末とペアリング」と表示された場合、「この端末とペアリング」を選択すると「ペアリング中...」の表示になり、ペアリングが終わると「ペアリング済み」と表示されます。

Android端末によっては、外部GPS機器を使用するためにアプリケーションをインストールする必要があります。外部GPS機器を使用するためのアプリケーションはバックグラウンドで動作して、Android端末とXGPS160が通信できるよう中継をしてくれます。いくつかのアプリケーションが利用可能ですが、Google Playストアにある無料のアプリケーション「Bluetooth GPS (開発元:G GMoblab)」や「Bluetooth GPS Provider (開発元: MOBILE-J.DE)」をお勧めいたします。

## 機器とのペアリング(続き)

### XGPS160と「Bluetooth GPS」の使い方

(ご注意: 以下の説明は、「Bluetooth GPS」のVer.1.2.2での使用をもとに書かれておりますので、バージョンにより内容が異なる場合があります。)

※Bluetooth GPS : 外部GPS機器を使用するためのアプリケーション

1.Android端末とのペアリング手順を完了している事を確認します。

※詳しくはAndroid端末とのペアリング(10ページ)をご確認ください。

2.Google Play ストアから「Bluetooth GPS」をダウンロードしてインストールを行います。

3.「Bluetooth GPS」を起動して[Main]タブのプルダウンメニューにあります[XGPS160-xxxxxx]を選択します。

4.[Enable Mock GPS Provider]をチェックします。

5.設定メニューを開いて[Use Insecure Connection]と[Reconnect]のオプションを選択します。

6.[Main]画面に戻り [Connect]ボタンをタップします。

GPS情報を必要とするアプリケーションを起動するとXGPS160から位置情報の送信が開始されます。同時にアプリケーションを起動したAndroid端末とXGPS160が接続されてBluetoothステータスインジケータが青く点灯します。

## 機器とのペアリング (続き)

### XGPS160と「Bluetooth GPS Provider」の使い方

(ご注意: 以下の説明は、「Bluetooth GPS Provider」のVer.1.4.7での使用をもとに書かれておりますので、バージョンにより内容が異なる場合があります。)

※Bluetooth GPS Provider : 外部GPS機器を使用するためのアプリケーション

1.Android端末とのペアリング手順を完了している事を確認します。

※詳しくはAndroid端末とのペアリング(10ページ)をご確認ください。

2.Google Play ストアから「Bluetooth GPS Provider」をダウンロードしてインストールを行います。

3.「Bluetooth GPS Provider」を起動してPreferencesメニューで次の設定をします。

- ・[Choose GPS receiver]ポップアップでXGSP160を選択します。
- ・[GPS Connect Method]を開いて[Insecure (Reflection)]を選択します。

4.メインメニューに戻り、[Start]ボタンをタップします。

GPS情報を必要とするアプリケーションを起動するとXGPS160から位置情報の送信が開始されます。同時にアプリケーションを起動したAndroid端末とXGPS160が接続されてBluetoothステータスインジケータが青く点灯します。

## **XGPS160の使用**

XGPS160 とのペアリングが完了すれば、端末のアプリケーションでGPS情報を使用できるようになります。

航空機や車で使用できるように、XGPS160 には滑り止めパッドが付属されています。安全に使用するために、XGPS160 が確実にパッド内に収まっている事を確認してください。

XGPS160 は**防水ではありません**が、滑り止めパッドに適切に収まっている場合は、水しぶきに耐えることができます。

## **XGPS160の充電**

XGPS160 は側面にあるUSBコネクタで充電できます。

コンピュータのUSBポートとXGPS160を付属のUSBケーブルで接続してください。

iPhone, iPod touch, iPadに付属するUSB充電アダプタもご利用になれます。

航空機や車ででも充電できるようにシガライター電源アダプタが付属されています。約3時間程でXGPS160を満充電できます。

## XGPS160を快適にご使用いただくために

- 見晴らしの良い場所にXGPS160を設置します。

※ コックピットのグレアシールド、車のダッシュボード、バックパックやメッシュポケット等。

- 航空機の加熱したフロントガラスの下で使用するのであれば、フロントウィンドウではなく、サイドウィンドウの下に設置する事をお勧めします。

フロントウィンドウの加熱メッシュは通常GPS衛星信号を遮断するため、現在地の取得が妨げられます。サイドコックピット側のウィンドウは通常加熱されにくかったり、大抵の信号は遮断されない場合が多くあります。

- 滑り止めパッドは、平面に固定するのに十分な粘着性があります。

- 滑り止めパッドの粘着性を戻すには、温かい水と中性洗剤で洗ってください。

- バッテリー残量の低下に従い、Bluetooth接続可能な範囲も低下します。

※ 無線接続が失敗するようでしたら、XGPS160を再充電してみてください。

## XGPS160の仕様

### 寸法(WxHxD mm)

- XGPS160: 55.0 x 70.0 x 22.0
- 滑り止めパッド: 107.0 x 122.0 x 25.0

### XGPS160 電圧

- 入力電圧: 5 VDC

### シガーライター電源アダプタ電圧

- 入力電圧: 12-30 VDC
- 出力: 5 VDC

### GPS/GLONASS

- GPSとGLONASSに対応
- SBAS (WASS, MSAS, EGNOS, GAGAN) に対応
- GPS: L1バンド 1575.42 MHz
- GLONASS: L1バンド 1598.0625~1605.375 MHz
- コールドスタート: 標準29秒内 (視野良好)
- ウォームスタート: 標準25秒内 (視野良好)

### Bluetooth

- CSR エンジン
- バージョン: 2.1+EDR
- 範囲: ~10m (視野良好)

### 内部バッテリー

- 容量: 1400 mAh
- 動作時間: ~10時間 (1端末の場合)
- 充電時間: ~3時間

### 環境要件

- 動作温度: -10°C~60°C
- 筐体温度: -20°C~80°C
- 相対湿度: 5%~95% 結露しない事

## Compliance

### ICC Compliance

このクラス[B]のデジタル機器はカナダのICES - 003に準拠しています。

This radio transmitter (4038A-XGPS160) has been approved by Industry Canada to operate with the antenna styles listed below with the maximum permissible antenna gain and required antenna impedance for each antenna type indicated. Antenna types not included in this list, having a gain greater than the maximum gain indicated for that type, are strictly prohibited for use with this device.

IC Warning: this device complies with Industry Canada license exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

- 1) this device may not cause interference, and
- 2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- 1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- 2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.



## Compliance(続き)

### FCC Compliance

本装置は、連邦通信委員会規則第15部に準拠しています。内容には次の2つの条件が含まれます。

- (1) この装置により、有害な干渉が発生することはない。
- (2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、どんな干渉の受信にも同意する必要がある。

**警告：** 本機器への明示的に認められていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザの権利が失われる可能性があります。

※本装置は、連邦通信委員会規則第15部の規定によるクラスBのデジタル装置に関する規制への準拠が検査により確認されています。これらの規制は、居住地域に取り付けた場合に有害な干渉から正しく保護することを目的としています。

本製品は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射しますので、指示にしたがって取付けて使用しない場合、無線通信に有害な干渉をする恐れがあります。しかし、特別な取り付けをした場合でも干渉が発生しない保証はできません。

本装置が、ラジオやテレビの受信に有害に干渉する場合、装置の電源を一度切り、再度電源を入れ、原因を確かめた上で、次の1つまたは複数の対策を講じることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- 装置と受信機の位置を離す。
- 受信機が接続されている回路とは違う回路の出力側に装置を接続する。
- 販売、またはラジオおよびTVに詳しい技術者に相談して下さい。

## 1 年保証

1.本書にお買い上げ年月日、販売店名が記載されているかどうかお確かめください。

記載のない場合(※)及びお客様情報の記入がない場合、内容が書き換えられた場合は、有償修理となります。

※記載のない場合は、販売店名と購入日を証明できる販売店から発行されたレシートや領収書等が必要となります。

2.保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。

ただし、診断により代替品と交換させていただく場合がございます。

3.保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。

(または、修理ができない場合があります。)

①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。

②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。

③使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。

④地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。

⑤本書の提示がない場合。

4.機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。

5.本書記載の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。

6.本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。

7.出張による修理対応はお受けできません。

8.XGPS160本体以外の付属品(消耗品)は保証の対象外となります。

9.本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

10.本書は再発行しませんので、大切に保管してください。

商品名：Sky Pro GPS Receiver
保証機器名：XGPS160本体（付属品は保証の対象外）
保証期間：お買い上げ日より1年
お買い上げ日※ <sup>1</sup> ： 20      年      月      日
お名前：  様
ご住所：〒
電話番号：
販売店印※ <sup>2</sup> ：

※1 本保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本書によって保証書を発行している者（保証責任者）及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてなどご不明点は、販売店または輸入販売元にお問い合わせください。

※2 印欄に記入のない場合、販売店名と購入日を証明できる販売店から発行されたレシートや領収書等必ずお持ちください。

（注）輸入販売の関係で交換に時間がかかる場合がございますので、ご了承ください。また、お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

製造元 Dual Electronics Corp.  
輸入販売元 株式会社ワックドットコム

ホームページ：<http://catalyst.wac-jp.com/xgps160/>  
メール：[support\\_xgps160@wac-jp.com](mailto:support_xgps160@wac-jp.com)  
サポートダイヤル：03-6380-8156

東京都千代田区一番町15-8 吉番館4F



製造元

Dual Electronics Corp.

[www.dualav.com](http://www.dualav.com)

©2014 Dual Electronics Corp. All rights reserved.

輸入販売元

株式会社 ワックドットコム

[www.wac-jp.com](http://www.wac-jp.com)

©2014 WAC.com All rights reserved.

Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and or other countries. iPod, iPad and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the US and other countries. “Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. The Bluetooth® word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Namsung is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.